

決算審査特別委員会

9月議会では、28年度決算の審査を行いました。決算審査の方法は、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（藤田慶則委員長、千葉悟郎副委員長）を設置、9月11日から9月21日まで審査し、いずれも原案のとおり認定しました。

総務企画部門

質問 総合戦略の取組みと事業の一つである地域ビジネス推進事業の内容は。

答弁 2億3千万円の予算に対し、1億7千万円の決算額となり、事業着手が遅かったことが影響した。地域ビジネス推進は、地域おこし協力隊（輝かせ隊）を一人委嘱し事業を進めている。

質問 職員の適正化は計画どおりか。

答弁 平成29年4月1日現在、876人と対前年比7人の減。予定どおりの推移である。なお、自己都合退職等で定員に対し6人の欠員状況である。

教育厚生部門

質問 各地区が合併時に持ち込んだ整備基金は今後どう扱うのか。

答弁 28年度末現在高3千900万円の各区整備基金は、29年度をメドに基金条例の廃止を行い、一般会計へ繰り入れを考えている。

質問 市税の滞納の実態と差し押さえの状況は。

答弁 市税の収入未済額は約6億6千万円、収納率は95・0％。なお、国保税の収入未済額は約6億7千万円、95・3％の収納率。差し押さえは1千157件、約4億1千万円で、うち75件が競売である。

質問 スクールバスの入札について、

今年の春に落札後に辞退した業者があったとき。運転手の確保の目途がないのに落札したようである。この事実を把握しているのか。そのように入札でよいのか。

答弁 その事実は把握している。落札業者が辞退後、別の業者に決めてスクールバスの運行に支障がないようにしている。その業者は市の指名停止になったが、今後このようなことが発生しないよう検討していく。

質問 歴史公園の管理運営について、市が引き続き管理すべきかどうか、検討しているのか。

答弁 市は歴史公園のトイレ、環境整備等を担当している。歴史公園は発掘等の調査をしているが、その設置目的をきちんと検証しなければならない。

質問 妊婦の葉酸（ビタミンB群）摂取不足で、障がい児が生まれたり、離乳食にハチミツを与えて死亡事故があるなど、国からの通知をどのように周知しているか。

答弁 妊娠初期に葉酸を摂取すべき点や注意すべき点は、母子手帳に明記している。さらに母子手帳交付時に説明している。ハチミツについては4カ月検診、もぐもぐ教室等にて指導している。

質問 生活支援ハウスについて、運営の実態は。民間に同様の施設はあるのか。

答弁 生活支援ハウスは、市内3施設に委託している。冬の間、民間の有料老人ホームを利用している人がいることを確認している。

質問 医療局の決算で当初予算より赤字額が少なくなった理由は。

答弁 繰入れ基準の内容改正で繰り入れ額が増えた。



管理の仕方が検討されている館山公園（江刺区）